



世界を知ること
 それは
 自分を知ること

JICA 北海道 開発教育・国際理解教育支援メニュー

国際理解教育や国際協力、SDGs に関する学びにご関心のある方へ





JICAって?

「信頼で世界をつなぐ」を合言葉に、国際協力を行う日本の政府系機関です。
開発途上国の課題解決に協力し、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に貢献しています。



開発途上国に協力できる
知識や技術を持った人がいます。

開発途上国と日本をむすぶ
架け橋となって働いています。

世界人口の 8 割の人が
さまざまな課題を抱えています。

北海道のチカラを、世界へ。

国際協力機構北海道センター(以下「JICA 北海道」)は、政府開発援助 (ODA) 事業の北海道の拠点として、日本政府や、各地方自治体、教育機関、NGO、NPO、市民団体、民間企業等と連携した国際協力事業を幅広く実施しています。

主な事業としては、開発途上国からの研修員の受入事業、JICA 海外協力隊事業、開発教育支援事業、国際協力・国際交流イベント等が挙げられます。

また、地域の方々にこれらの事業を紹介し、国際協力に対する理解を深めていただくために、パネル展、講演会等さまざまな広報活動も実施しています。

世界をもっと身近に考える。

海外と国内の双方に現場を有する JICA は、開発途上国での開発事業で得た「知見の還元」と、世界の現状と課題について「考える機会の提供」を目的として、開発教育支援事業を実施しています。

子ども達が開発途上国と日本とのつながりを知ることで、途上国の問題をジブンゴトとして感じ、学び、気づきを得られるように、JICA 北海道では様々な開発教育支援メニューを用意しています。

総合的な学習の時間、修学旅行、教員向け研修等、教育現場の様々な場面で是非、ご活用ください。

SDGs 達成に向けた JICA の取り組み



食料増産

2.0 倍

人口増加に伴い、コメの消費量が急増しているアフリカ。JICA では日本の稲作技術を生かし、サブサハラ・アフリカにおけるコメの生産量を 2.0 倍に拡大させた。(2008 年～ 2018 年)



母子手帳
34カ国

900 万冊

戦後、日本で作られた母子手帳は、1990 年代以降、各国の実情に見合った形に改良され、年間発行数 (2019 年 JICA 推計) は約 900 万冊。母子の健康の記録として活用されている。



学びの改善

1,500 万人以上

JICA の支援を通じ、学びの改善に向けた質の高い教育環境を提供された子どもの数は、2015 ～ 2017 年度の合計で 1,500 万人以上に上る。



安全な水への
アクセス

8,050 万人

給水施設整備支援による給水人口 (1999～2019 年度)。安全な水を持続的に供給するために、水道や井戸の整備、行政能力や利用者組合設立など、ハードとソフト両面の支援が行われている。



防災

9 割以上

2015 年のネパール地震で被災した住宅のうち、耐震基準を満たし再建・着工された住宅は 9 割を超えた。



青年海外
協力隊

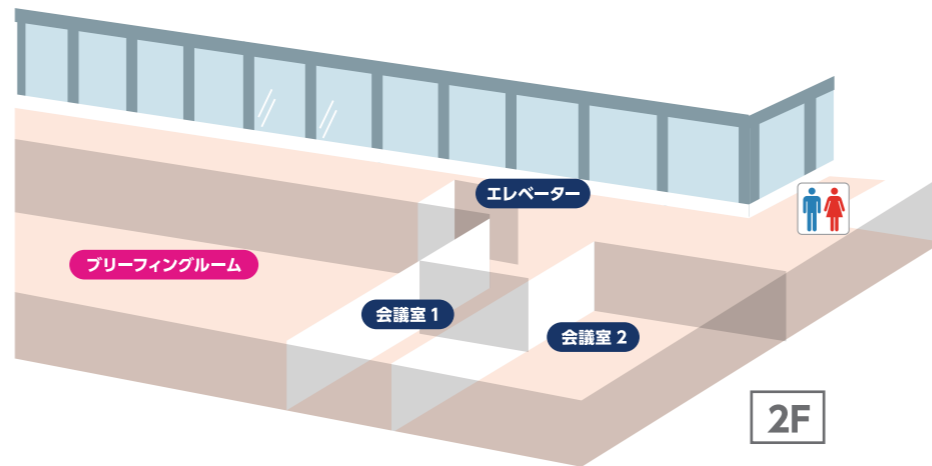
45,000 人

青年海外協力隊 (現・JICA 海外協力隊) の累計派遣人数 (1965～2019 年度)。JICA では、青年海外協力隊の他にも、シニア海外協力隊など、開発途上国のために役立ちたいと望む人を世界各国に派遣している。



JICA 北海道 (札幌)

JICA 北海道 (札幌) は、道央・道北・道南地域 (石狩、空知、後志、胆振、日高、上川、留萌、宗谷、渡島、檜山各管区) における国際協力の拠点として、1996 年 4 月にオープンしました。併設の「ほっかいどう地球ひろば」は、世界のことが学べる体験型施設です。SDGs「持続可能な開発目標」について考える展示や、企画展を開催しています。



食べて知る異文化

「レストランカフェ・地球こうさてん」



「楽しみながら世界を知り、食べ、交流できる」レストランです。

食べることで 20 円 (開発途上国での給食一食分) を寄付できる Table For Two メニューや、様々な開発途上国の料理を提供しています。「食べること」から、国際協力の一步を気軽に踏み出せます。



今自分にできること

フェアトレードショップ

フェアトレードとは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することで生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「取引のしくみ」です。世界を知って、買い物を通した国際協力をはじめてませんか？



ほっかいどう地球ひろば 知って、繋がって、変えるゾーン



世界の国とこんにちは！

「世界を知る」がテーマのゾーン A では、民族衣装やパネル展示を通じて、世界の多様性や課題、北海道とのつながりについて理解を深められます。

ゼロモニュメント

いったいこの数字は、何をあらわしているのかな？ひろばを見学して、答えを見つけてみよう！



世界の民族衣装



世界各国の民族衣装を実際に体験できます。見て、着て、知って、その国を感じてみよう！



教えて！ 世界で起きていること

「世界とつながる」がテーマのゾーン B では、2015 年に国連サミットで決められた「持続可能な開発目標 (SDGs)」の各課題を見て、触れて、わかりやすく知ることができます。



レッツチャレンジ

「世界を変える」がテーマのゾーン C は、遊んで学べるクイズ形式の SDGs の展示物があります。* また、国際協力に関する様々なテーマの展示が定期的に入れ替わっています。是非、クイズにチャレンジしてみてください！
(※2022 年春以降、新設予定。)

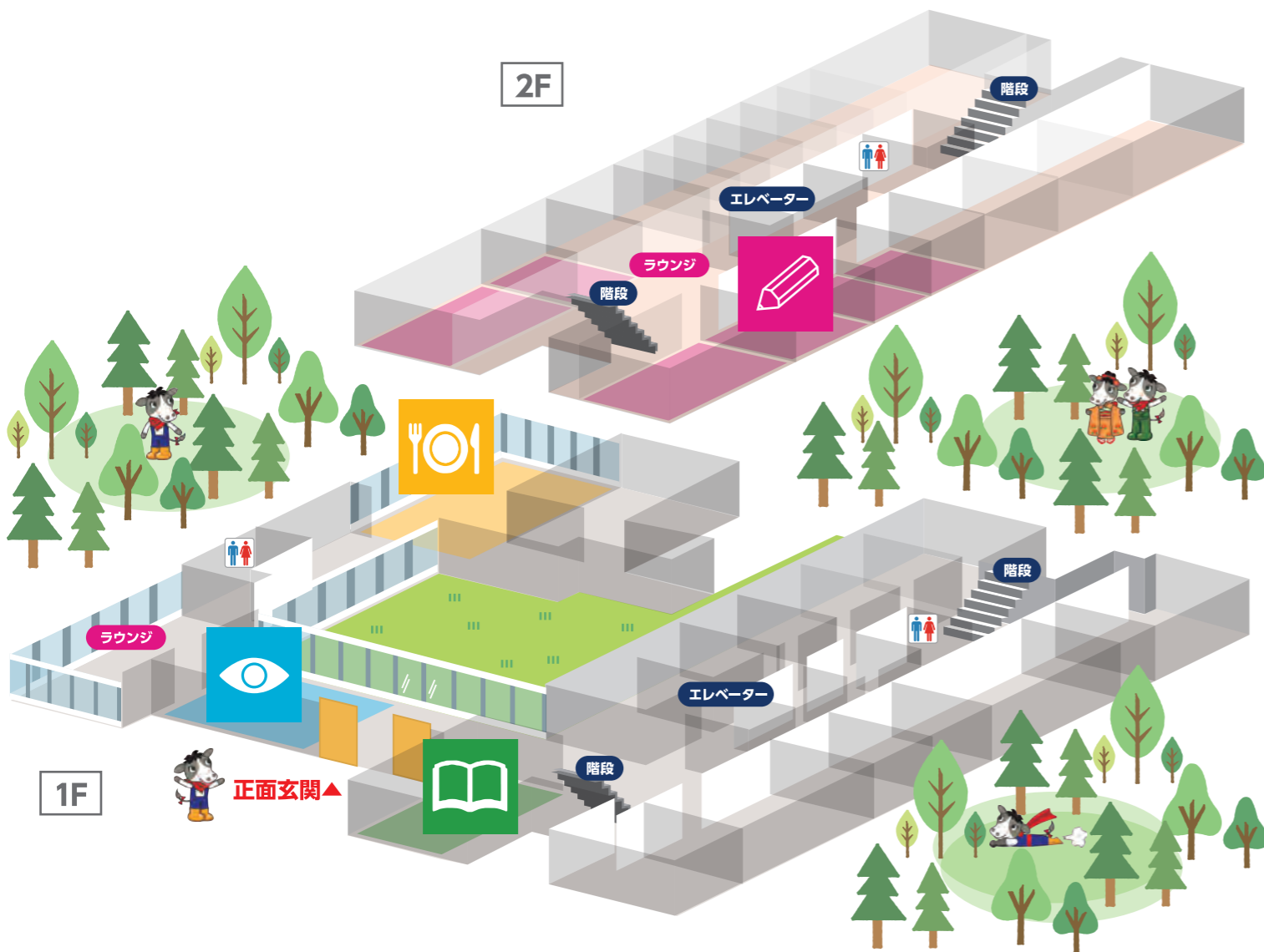


JICA 北海道 (帯広)

JICA 北海道 (帯広) は道東地域 (十勝、釧路、オホーツク、根室各管区) における国際協力の拠点として、1996 年 4 月にオープンしました。道東地域と開発途上国の結節点として、途上国の課題解決に取り組むとともに、市民参加型の国際協力を推進することで、地域活性化や地方創生にも貢献しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



セミナールーム

海外からの研修員への講義や、開発教育のプログラムなどで使用します。一般の方々も、国際協力や国際理解教育を目的とする研修会等にご利用いただけます。



世界の料理が味わえるレストラン

「おびくっく」

一般の方々もご利用いただけるレストランです。手頃な価格で国際色豊かな料理が楽しめます。四季の移ろいを感じられるテラス席が人気です。春はたんぼぼが咲きみだれ、夏は近くの木々にエゾリスがやってくることもあります。



「食の多様性」への配慮

「おびくっく」ではイスラム教徒やベジタリアンに配慮したメニューも用意しています。



SDGs や世界の課題を学べる展示スペース

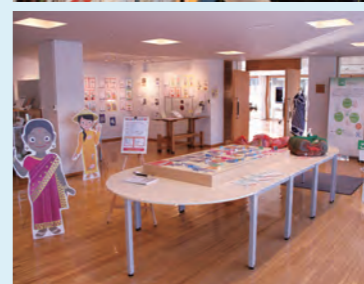
「おびるっく」

JICA 北海道 (帯広) の「おびるっく」は、世界の出来事を見て、聞いて、触れて、体験できる展示スペースです。季節ごとにテーマを入れ替えて展示をしています。2022 年 4 月からは「持続可能な開発目標」(SDGs) の常設展示をはじめ、展示の内容をさらに充実させます。



新コーナー

3 面スクリーンで世界を体験！体験映像コーナー
SDGs について楽しく学べる常設展示コーナー
(2022 年 4 月オープン予定)



世界の衣食住や国際協力について学べる図書館

「おびぶっく」

世界の文化、各国情報、国際理解教育、国際協力に関する図書資料や雑誌のほか、英語の漫画、DVD などもあり、貸し出しも行っています。



教材もたくさん！

アクティブラーニングに活かすことのできるワークショップ集や事例集も充実しています。



【開館時間】

火曜日から金曜日
午後1時から午後6時30分まで

JICA 北海道(札幌) 訪問プログラム



JICA 北海道(札幌)に併設される「ほっかいどう地球ひろば」は、世界のことが学べる体験型施設です。地球案内人(専属ガイド)による体験ゾーン見学や JICA 海外協力隊の体験談・開発途上国や SDGs 理解につながるワークショップなどと組み合わせたプログラムがご利用できます。(予約制)

また、お一人からでも参加できるミニツアーも通年で開催しています。



お申込書はこちらからダウンロードできます▶

活用事例

- SDGs 学習
- 総合的な学習
- キャリア教育
- 国際理解教育
- 教員研修
- 長期休暇の課題学習 など

●申込方法

申込書を QR コード又はほっかいどう地球ひろば HP からダウンロードし、必要事項を記入の上、見学希望日の1ヶ月前までに下記連絡先までお申し込みください。受付後、担当者よりご連絡いたします。

ほっかいどう地球ひろば予約デスク(青年海外協力協会)
電話番号: 011-866-1515 FAX: 011-866-1516
Eメール: hokkaido@joca.or.jp

- 事前・事後学習 15 ページをご覧ください。
- 実施日 平日(年末年始を除く)

訪問プログラムについて

※ご希望のお時間や参加者に応じプログラム内容の調整も可能です。まずはご相談ください。
※オンラインツアーの対応も可能です。ご相談ください。

プログラム(例)

所要時間 1 時間 30 分 対象 / 小学生以上 人数 / 40 人程度	国際協力・JICA について 「国際協力って何のこと?」「JICA 北海道はどんな国にどんな協力をしているの?」など、国際協力の基本をご紹介します。 (約 10分)	体験ゾーン A,B A ゾーンでは民族衣装や食べ物、特産物などから日本と世界のつながりについて、B ゾーンでは SDGs を始め、世界で起きている問題について触って学べます。 (約 40分)	海外協力隊体験談 実際に JICA 海外協力隊として活動した経験をお話します。クイズを交えて参加型で進めます。本やインターネットには載っていないリアルな海外生活を聞くことができます。 (約 40分)
所要時間 2 時間 対象 / 小学生以上 人数 / 40 人程度			ワークショップ ご希望の方は、「あれについて学びたい」「子供たちに、これについて考えてほしい」等、深めたいテーマや授業の中の位置づけなど詳しくお聞かせください。案内人から相応しいものをご提案します。(80~100分)

食べる!国際協力!



ほっかいどう地球ひろば団体訪問の際、ご利用いただける昼食プログラムです(要問い合わせ)。アフリカで一般的な給食メニューを提供します。アフリカの子供たちが食べている給食を実際に口にすることで、楽しく、食の多様性・異文化理解へつなげることを目指します。

ウガンダ給食プログラム

お申込み・お問い合わせ

レストランカフェ「地球こうさてん」
電話 011-866-8676(レストラン直通)
※店舗が混雑する昼の時間帯(11:00~14:00)はお電話にすぐに出られない場合があります。予めご了承ください。

JICA 北海道(帯広) 訪問プログラム



JICA 北海道(帯広)の展示スペース「おびるっく」では、世界の課題や SDGs、国際協力について、写真・映像・実物資料・造形などを交えて展示しています。見て・聞いて・触れて体験できる展示を通し、世界や開発途上国について理解を深めることができます。地球規模の課題や多様な文化、世界と日本、世界と道東地域のつながりを学び、一人ひとりにできることを考えましょう!

訪問プログラムではガイド付きで館内を見学する事ができます。また、JICA 事業紹介、国際協力体験談、ワークショップなどの内容を組み合わせて、ご要望に応じたさまざまなプログラムのアレンジが可能です。遠方で見学が難しい場合、オンラインでの見学やプログラムの実施が可能ですのでお問い合わせください。



お申込書はこちらからダウンロードできます▶

活用事例

- SDGs 教育
- 総合的な学習の時間
- キャリア教育
- 修学旅行
- 教員研修
- 自由研究 など

●申込方法

申込書を QR コード又は JICA 北海道(帯広) HP からダウンロードし、必要事項を記入の上、見学希望日の1ヶ月前までに下記連絡先までお申し込みください。受付後、担当者よりご連絡いたします。

JICA 北海道(帯広) 訪問プログラム担当
電話番号: 0155-35-1210 FAX: 0155-35-1250
Eメール: obictp-event@jica.go.jp

- 事前・事後学習 15 ページをご覧ください。
- 実施日 通年(土・日・月・祝祭日)を除く
- 人数

最大受入人数 30 名まで対応可能です。
※30 名以上の場合はご相談ください。

訪問プログラム(例)

※ご希望のお時間や参加者に応じプログラム内容の調整も可能です。まずはご相談ください。

所要時間 1 時間 対象 / 小学生以上 人数 / 30 人程度	世界とわたし わたしたちが目指す世界って? [所要時間約 20 分間] 「世界では学校に行けない子どもがいるの?」「世界がもし 100 人の村だったら?」など、知らなかった世界を知り、世界の中の自分を発見します。	展示スペース探検 地球にはいま、どんな課題があるの? [所要時間約 20 分間] ガイド付きで展示スペースの見学をします。SDGs や世界の課題を学びます。	地域と世界のつながり 十勝と世界のつながりって? [所要時間約 20 分間] 隣接施設「森の交流館・十勝」で地域と世界のつながりを学びます。
所要時間 2 時間 対象 / 小学生以上 人数 / 30 人程度	国際協力・JICA について 国際協力って何? [所要時間約 30 分間] 「国際協力って何のこと?」「政府開発援助(ODA)って?」「JICA はどんな国にどんな協力をしているの?」など、国際協力の基本をご紹介します。	展示スペース探検 地球にはいま、どんな課題があるの? [所要時間約 40 分間] ガイド付きで展示スペースの見学をします。SDGs や世界の課題を学びます。	国際協力体験談 開発途上国の人はどんな暮らしをしているの? [所要時間約 50 分間] 国際協力の経験者が途上国での体験をお話します。日本とは違う文化や暮らしを知り、世界の国々の多様性、国際協力の実際を楽しく学びます。
所要時間 2 時間 対象 / 中学生以上 人数 / 30 人程度	SDGs について SDGs って何? [所要時間約 30 分間] 「SDGs って何のこと?」「日本の SDGs 達成状況は?」「国際協力と SDGs の関係は?」など、SDGs の基本をご紹介します。	SDGs 調べ学習 私たちが解決すべき課題は? [所要時間約 40 分間] SDGs に特化した展示スペースで調べ学習を行います。17 の目標を知り、生徒個人の価値観から深く調べる目標を選択しより深くターゲットについて学習することができます。	ワークショップ わたしと世界の未来ってどうつながっているの? [所要時間約 50 分間] 日本のわたしと途上国の人が考える「必要なもの」の違いと同一性から気づきを得るワークや、これから必要とされる職業を考えるワークなどを通してわたしと世界の未来とのつながりを考えます。

国際協力出前講座



JICA 海外協力隊経験者や、JICA 職員などを講師として派遣します。国際協力や開発途上国の文化・暮らしはもちろんのこと、教育・医療・農業・スポーツ・SDGs・キャリアなど、ご希望のテーマや時間に応じて講座を組み立てることができる、人気のプログラムです。

●申込方法

次頁の申込書に必要事項をご記入の上、用紙に記載の宛先に講演希望日の1か月前までに E メールまたはファックスでお申込みください。QR コード又は JICA 北海道 HP から用紙をダウンロードできます。講師決定にお時間をいただくことがありますので、ご了承ください。

●対象

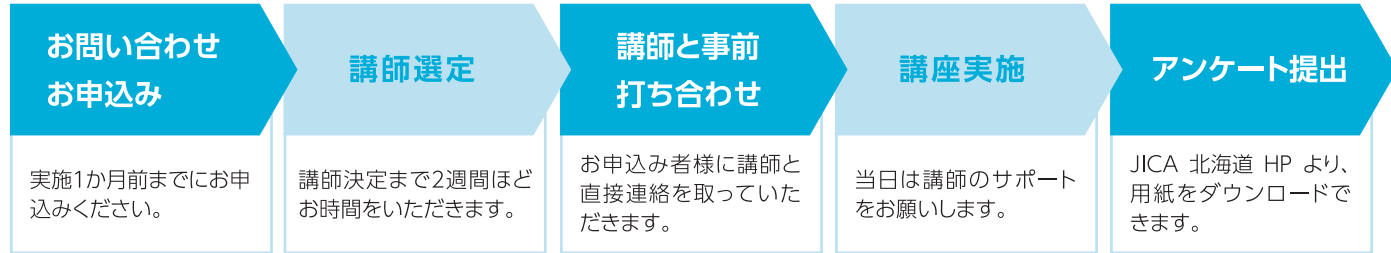
学校、教育機関、地方公共団体、民間の国際交流団体など

●費用

講師の謝金・交通費につきましては、原則としてお申込み団体のご負担をお願いします。目安は一人当たり1時間4,600円(JICA 規定に基づく)です。学校や自治体における講師謝金単価基準がある場合は、そちらに基づきご相談ください。



詳しくはウェブサイトにて



講演内容(例)

- 小学6年生 → 総合「SDGs を通じて世界を知ろう」
- 中学2年生 → キャリア教育「世界で働くことを知る」
- 高校2年生 → 選択科目「JICA 海外協力隊体験談から考える私たちにできる国際協力」

JICA 海外協力隊とは?

JICA は、国際協力の志を持った 20 ~ 69 歳の日本国籍を持つ方を開発途上国に派遣し、草の根レベルで開発途上国の発展に貢献しています。JICA 海外協力隊は発足より 50 年が経ち、のべ 5 万人を超える方々が参加しています。自分の持っている知識や技術・経験を活かし、原則 2 年間派遣されます。1 か月から参加できる短期ボランティア制度もあります。



詳しくはウェブサイトにて

授業で活用した先生の感想

日本国内から出たことがない生徒が多数の中、実際に開発途上国で生活していた方の話を聞いたことが貴重な機会になりました。授業や教科書の話ではなく、生の体験談を聞くことや現地の写真や映像を見ることで、他国の文化や習慣の違いについてより深く学ぶことができました。(中学教諭)



JICA 北海道 国際協力出前講座 講師紹介要請書

申込日: 年 月 日 (希望日の少なくとも1か月前までにお申込みください)

学校・団体名					
担当者名(ふりがな)					
住所	〒				
電話			FAX		
E-mail					
希望日時	第1希望	年	月	日 ()	時 分 ~ 時 分
	第2希望	年	月	日 ()	時 分 ~ 時 分
実施場所	<input type="checkbox"/> 学校・団体所在地に同じ <input type="checkbox"/> その他(名称・住所:) 最寄り交通機関: (バス・地下鉄・JR) 線 駅・停留所				
	<input type="checkbox"/> オンラインでの実施を希望する (使用アプリケーション Teams・ZOOM・その他 _____)				
対象者(学年)				対象人数	
講演の目的(必ずご記入ください)	* カリキュラム・活動の中での位置づけ、ねらい等				
科目・講義名称					
希望講演テーマ					
希望講演内容(いずれかに☑してください)	<input type="checkbox"/> 青年またはシニア海外協力隊等のボランティア体験談を聞きたい <input type="checkbox"/> 途上国での生活・文化・国事情などについて聞きたい <input type="checkbox"/> JICA 事業・政府開発援助 (ODA)・国際協力・SDGs 等について知りたい <input type="checkbox"/> その他 ()				
申込の背景(JICA 事業活用実績など)	* 教育関係者は、貴校での国際理解教育への取り組み(内容、年間計画、ねらい等)について、可能な範囲で記入または資料を添付ください。また、講師派遣にあたり事前または事後の学習予定について、記入または資料を添付ください。				
※留意事項※【費用について】(必ずお読みください) JICA ボランティア経験者他、外部講師の紹介を希望される場合は謝金をご準備ください。(謝金については、学校や自治体における講師謝金単価基準がある場合は、そちらに基づきご相談ください。)単価基準がない場合は、目安として一人当たり1時間 4,600円(JICA 規定に基づく)と交通費の実費をご負担いただきます。				【講師謝金に関して】 <input type="checkbox"/> JICA 規定基準 <input type="checkbox"/> 貴団体の基準 <input type="checkbox"/> その他 () (いずれかに☑してください)	

【お申込み先】 以下宛先にメールまたは FAX でお申込みください。

青年海外協力協会 JICA 北海道担当
(JICA より開発教育支援業務受託)

E-mail: hokkaido@joca.or.jp
FAX: 011-866-1516

※JICA のホームページ等に写真を掲載させていただく場合がありますのでその旨ご了承ください。

※申込みを受けてから2週間を目処に受入の可否について回答いたします。

※状況により講師の調整ができず、変更をお願いする場合があります。

※出前講座の実施に関して、児童・生徒等の参加者が負傷する等の損害が発生したときは、JICA 又は講師の故意又は重大な過失による場合を除き JICA 及び講師は責任を負わないものとし、当方(要請元)の責任において解決することに同意します。

開発教育 / 国際理解教育指導者研修

開発教育指導者研修

教員研修の開催を検討している方へ

JICA 北海道では、開発教育・国際理解教育を授業等で実践することを目的として、指導者向けに、参加型の学習の体験・実演、国際理解教育の概要説明などを行っています。研修の主催等をご検討されている方は、JICA 北海道(札幌・帯広)開発教育担当まで、お気軽にご相談ください。



●対象

各自治体、教育委員会、NGO / NPO 関係者、学校など

- <過去の実施例> 札幌市教育委員会・・・教職基礎研修「国際理解教育について学ぼう」(対面)
 北海道立研究所・・・持続可能な開発のための教育(ESD)研修(オンデマンド)
 三笠市教育委員会・・・国際理解教育 途上国での子どもの生活実態や教育の現状について～水・環境問題～
 苫小牧市教育委員会・・・国際理解教育研究部会研修 ワークショップ
 十勝教育研修センター・・・十勝教職員研修講座 ワークショップ(対面)
 ※本年度の開催については、JICA 北海道(札幌・帯広)までお問い合わせください。

学校単位での申込みお待ちしております!(要相談)

実践者向けの研修(初めての方～実践を目指す方)

自身のスキルアップを検討されている方へ

日本と開発途上国とのつながりや、世界の課題への理解を促すためのワークショップを体験していただけます。また、参加型手法の習得、教材・授業の分析・検討等を通して、国際理解教育を実践するためのスキルアップを図るものです。教員同士のネットワークの構築にも活用いただき、道内の学校現場における国際理解教育の実践を支援します。



●開催時期 年4回

詳しい日程や内容はHPをご確認ください。

●場所 オンライン、または、JICA 北海道センター

●対象 開発教育・国際理解教育に関心のある方

●応募方法 HPをご確認ください。



詳しくはウェブサイトにて

教師海外研修(教師国内研修)

開発教育・国際理解教育に取り組まれる教員の皆様が、実際に開発途上国を訪問することにより、開発途上国が置かれている現状や国際協力の現場、開発途上国と日本との関係に対する理解を深めていただき、帰国後は訪問によって得た成果を活用し、学校現場での実践等を通じて、次代を担う児童・生徒の教育に役立てていただくことを目的として実施しています。また、本研修終了後、教育現場で開発教育・国際理解教育に取り組む中核人材として活躍いただくことも狙いとしています。

実施時期、研修派遣先、募集方法等については、HP または随時発行する募集要項をご覧ください。

※2021年度は北海道でSDGsを題材とした教材を作成する「教師国内研修」を実施しました。(下記参照。)



「教師国内研修」とは?



国際理解・開発教育に関心を持つ教員を対象に、持続可能な社会の創り手の育成を目指した指導案の作成と授業実践に取り組んでいただく研修です。

SDGs や多文化共生、地域課題への取組等をテーマとした、フィールドワークやオンライン研修、集合型研修を北海道内で行います。

詳しい参加方法や、実践報告書、作成された指導案については、JICA 北海道までお問い合わせください。



詳しくはウェブサイトにて

世界の民族衣装貸し出し



ほっかいどう地球ひろばには、JICA のパートナーである様々な開発途上国の民族衣装を展示しています。

この民族衣装は、最大 10 点まで貸し出しが可能ですので、学校の授業や学内の掲示、国際イベントなどにぜひご活用ください。

活用事例

- 小学校「スーホの白い馬」
- 養護学校小学部「世界のなかま」
- 総合的な学習の時間
- JICA 海外協力隊の体験談と併せて など

●申込方法

JICA 北海道までお問い合わせください。
(QR コードより、申込ページをご確認ください)

●対象

- 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学等の教育関係機関
- その他当機構が適切と認めた個人または団体など



詳しくはウェブサイトにて

展示パネルの貸し出し



SDGs について学ぶ概要パネルや、北海道発の国際協力を紹介したパネルを学校の授業やイベントで活用しませんか?

民族衣装と同様に最大 10 点まで貸し出しを行っています。

活用事例

- 町文化祭での SDGs 展示
- 文化祭での国際協力紹介展示
- 図書室での関連図書紹介 など

●申込方法

JICA 北海道までお問い合わせください。
(QR コードより、申込ページをご確認ください)

●対象

- 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学等の教育関係機関
- その他当機構が適切と認めた個人または団体など



詳しくはウェブサイトにて

小学生・中高生国際協力体験プログラム



●日程・会場・プログラム・応募方法など

単日開催や 1 泊 2 日で合宿形式の開催、オンラインでの開催等、様々な形でプログラムを計画していますので、詳しくは JICA 北海道までお問い合わせください。
(QR コードより、申込ページをご確認ください)

●対象

国際協力・SDGs・異文化理解に関心のある小学生～高校生

国際協力に関心のある道内の児童・生徒を対象に、国際理解につながるモノづくりや地球規模の課題に触れるワークショップなど、様々な体験型プログラムを実施します。北海道各地から集まる仲間たちと、国際協力について考える一日を過ごしてみませんか?

実施方法
各拠点 又は
オンライン

小学生編
夏休み

中高生編
夏休み

高校生編
冬休み

※新型コロナウイルス感染症の影響により一部プログラムの開催方法は変更になる可能性があります。

<過去の実施例> ●小学生向けプログラム

札幌/オンライン・・・中米グアテマラのアルフォンブラ(おがくずをつかったアート作品)作りに挑戦! 等

●中学生高校生向けプログラム

- 札幌・・・青年海外協力隊の訓練から活動までを疑似体験(1泊2日合宿開催)
- 旭川・・・トランプを使った異文化コミュニケーション体感ゲームを通じて、私たちに出来ることを考える
- 帯広・・・JICA 研修員や現地スタッフ(オンライン)とランチ交流! グループワークで意見交換しよう
- オンライン・・・ワークショップ・グループワークを通してプラスチックごみについて考える

グローバル社会を生き抜く力・成長の芽を育みます。

- 外国の文化や習慣に直接触れる。
- JICA 海外協力隊の体験談で開発途上国の現地の様子を学ぶ。
- 地球ひろばのライブツアーで世界を知る。
- 仲間とグループワークで考えを深める。



▲中米グアテマラのアルフォンブラ(おがくずを使ったアート作品)作り



詳しくはウェブサイトにて



詳しくはウェブサイトにて

事前・事後学習の例




ほっかいどう地球ひろば訪問プログラムや国際協力出前講座の学習効果をより高めるために事前事後学習をおすすめします。

事前学習	プログラム実施	事後学習
<p>■ねらい</p> <p>世界について関心をもつ 世界の課題に気付く 疑問をもつ</p>	<p>■ねらい</p> <p>世界の現状を知る 世界の中の自分に気付く 自分の可能性に気付く</p>	<p>■ねらい</p> <p>伝える力を高める 行動する力を高める 学ぶ意欲を高める</p>

教材の提供・閲覧

JICA 北海道では、開発教育・国際理解教育に関する教材・資料を提供・閲覧することができます。

学校現場などですぐにお使いいただけますので、ぜひご活用ください。

<p>日本と世界のつながりを知る教材 「どうなってるの?世界と日本」</p>  <p>日本と途上国とが密接につながっていることがわかるクイズ付きの冊子です。国際協力の必要性が自分たちの生活からも見えてきます。</p>	<p>「持続可能な開発目標」について知る 「私たちが目指す世界」</p>  <p>SDGsとは何か? 「持続可能性」って何? この目標が私たちの生活にどう関わっているのか。できることは何かを考えることができます。</p>	<p>SDGs×国際協力を知る教材 「共につくる私たちの未来」</p>  <p>SDGsの基本を、日本の国際協力や各国の子どもたちの紹介を交えて学べる教材です。</p>
--	--	--



データダウンロードはこちらから

送付をご希望の場合は、JICA北海道までご連絡ください。



JICA地球ひろば 先生・生徒のお役立ちサイト

映像教材、冊子教材、広報誌の他、国際理解教育の実践事例や学習指導案もご覧いただけます。

JICA 国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト

開発途上国の現状と国際協力の必要性について理解を深め、国際社会の中で日本は何をすべきか、また自分たちひとりひとりがどう行動すべきかについて考えてもらうことを目的としたコンテストです。全国の中学生・高校生を対象に毎年開催しています。学校教育の中で国際協力を考えるきっかけ作りとしてぜひ活用ください。

■募集期間 毎年6月～9月頃 ■対象 全国の中学生・高校生

※詳しくは、JICAウェブサイトをご覧ください。



年間プログラムカレンダー(予定)

春	国際理解教育 指導者研修	P11
	教師海外(国内)研修 募集開始	P12
	国際協力エッセイコンテスト 募集開始	P15
夏	小学生 国際協力体験プログラム	P14
	中高生 国際協力体験プログラム	P14
	教師海外(国内)研修 実施	P12
秋	国際協力エッセイコンテスト 応募締切	P15
	国際理解教育 指導者研修	P11
冬	高校生 国際協力体験プログラム	P14
	教師海外(国内)研修 報告会 (予定)	P12

お問い合わせ先一覧

■JICA 北海道(札幌)

〒003-0026 北海道札幌市白石区本通 16 丁目南 4-25
 TEL : 011-866-8333(代表) FAX : 011-866-8382
[https:// www.jica.go.jp/sapporo/](https://www.jica.go.jp/sapporo/)

●地下鉄をご利用の方

<東西線>
「南郷 18 丁目駅」より徒歩 12 分。

●バスをご利用の方

<JR 北海道バス>
バス停「下白石」より西側に徒歩 2 分。

<北海道中央バス>
バス停「白石本通 16 丁目」で下車、
バス停目の前。
系統 72「札幌駅前」～「JR 平和駅前」
1 時間に 1 本運行



■JICA 北海道(帯広)

〒080-2470 北海道帯広市西 20 条南 6 丁目 1-2
 TEL : 0155-35-1210(代表) FAX : 0155-35-1250
[https:// www.jica.go.jp/obihiro/](https://www.jica.go.jp/obihiro/)

●バスをご利用の方

<拓殖バス>

①「帯広の森線」西 19 条 6 下車、
徒歩約 15 分

②「南商業高校線」国際センター入り口下車、
徒歩約 5 分

(注)「南商業高校線」は国際センター入り口に
停車しない時間帯があります。
その場合は西 19 条 6 で下車してください。

<十勝バス>

③「環状線きた回り」西 20 条 6 下車、
徒歩約 5 分



連絡先		
JICA 北海道(札幌) 開発教育担当	TEL:011-866-8421 FAX:011-866-8382 hkictpp@jica.go.jp	国際理解教育・開発教育支援メニューに関するお問い合わせはこちら
JICA 北海道(帯広) 開発教育担当	TEL:0155-35-1210(代表) FAX:0155-35-1250 obihiro_event@jica.go.jp	
ほっかいどう地球ひろば 予約(青年海外協力協会)	TEL:011-866-1515 FAX:011-866-1516 hokkaido@joca.or.jp	ほっかいどう地球ひろばへの訪問、出前講座、民族衣装・パネルの貸出の予約はこちら
レストランカフェ 地球こうさてん	TEL:011-866-8676	ウガンダ給食 Table For Two フェアトレード商品) については こちら
旭川デスク	TEL:0166-22-8805 jicadpd-desk-asahikawashi@jica.go.jp	各地域のデスクにもお気軽にお問い合わせください
函館デスク	TEL:0138-86-7557 FAX:0138-22-0660 jicadpd_desk_hkd@jica.go.jp	
北見デスク	TEL:080-9525-1332 jicadpd_desk_kitami@jica.go.jp	
釧路デスク	TEL:080-2571-7523 jica_kushiro_desk@jica.go.jp	

■あなたに身近な JICA の窓口(各地域デスク)

国際協力推進員は、JICA が実施する事業に対する支援、広報及び啓発活動の推進、自治体の国際協力事業との連携促進等の業務を行うために、自治体が発する国際協力事業の活動拠点に配置されています。出前講座や国際理解についてお気軽にご相談ください!